

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月10日

計画の名称	八頭町社会資本総合整備計画（地域住宅計画）													
計画の期間	平成 3 0 年度 ~ 令和 0 4 年度 （5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	八頭町													
計画の目標	町内に存する危険物等の倒壊による近隣及び道路への危険防止のために、危険建物の除却を推進し、安全で安心できる住みやすいまちを確保する 町民が、快適で住みやすい環境のもと、安心して安全に暮らすことができる													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		142	A	133	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	6.33	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29時点	R1末	R4末
1	除却を推進すべき区域内の不良住宅の除却戸数 除却を推進すべき区域内の不良住宅の戸数を除却状況に基づき算出 区域内の不良住宅の戸数（戸）＝町が把握している不良住宅の戸数（戸）－除却した不良住宅の戸数（戸）	72戸	戸	47戸
2	ストック改善を行った町営住宅の戸数の割合 町営住宅管理戸数のうちストック改善事業を行った戸数に基づき算出 ストック改善済戸数割合（％）＝ストック改善済戸数（戸）÷町営住宅管理戸数（戸）×100	0%	%	16%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	八頭町	間接	八頭町	-	-	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等）	空き家再生等推進事業（除却）	八頭町	■	■	■	■	■	15		未策定		
	A15-002	住宅	一般	八頭町	直接	八頭町	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅ストック改善事業）	町営住宅ストック改善事業	八頭町					■	■	112		策定済	
	A15-003	住宅	一般	八頭町	直接	八頭町	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅整備事業）	町営住宅建設事業	八頭町						■	6		策定済	
												小計							133		
											合計							133			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	八頭町	直接	八頭町	-	-	公営住宅ストック改善関連事業	仮住居の借上げ費用、移転に要する費用	八頭町				■	■	9		-
		公営住宅ストック改善事業を補完し、居住環境の改善を図る																	
												小計						9	
											合計						9		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

八頭町関係課メンバーにより実施

事後評価の実施時期

令和5年4月

公表の方法

町HPで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 八頭町内の不良住宅の戸数が減少した。
- ・ 町営住宅のストック改善により、居住性と耐久性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き八頭町内の不良住宅の除却と公営住宅のストック改善を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	区域内の不良住宅の戸数を47戸まで減少		
	最 終 目標値	47戸	社会資本整備総合交付金以外の補助事業を併用したことで除却が進んだため
	最 終 実績値	40戸	
2	ストック改善済戸数の割合16%		
	最 終 目標値	16%	年間に着手できる件数が計画より少なくなったため
	最 終 実績値	8%	